

## 授業科目 公衆衛生学（疫学含）

【担当教員名】 遠藤 和男		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 <概要> 地域看護学とその実践である地域保健活動にとって、「疫学」はいわば原理と方法論であり、一方いわゆる保助看法での「公衆衛生の普及向上」とは、実践である。地域看護学は応用編であり、その前に基礎となる疫学を含めた公衆衛生学を学習することになる。 <一般目標：G10> 地域看護学の基礎となる、疫学の原理や方法論、公衆衛生学での実践について理解する。					
【行動目標：SBO】					
1. 疫学及び公衆衛生学の定義を説明できる。 2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。 3. ライフステージ毎に特有な健康問題を指摘できる。 4. 主要な疾病について宿主要因と環境要因とを区別できる。 5. 疾病それぞれの予防方法について実践したり援助できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	疫学及び公衆衛生学の定義と歴史について学ぶ。			1	講義、担当：遠藤 和男
2	日本の人口構成の変化と人口動態統計について学ぶ。			1,2	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
3	地域保健で用いる指標：罹患率などについて学ぶ。			2	講義、担当：遠藤 和男
4	衛生行政：保健所と市町村の役割分担について学ぶ。			1	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
5	環境保健1：生物学的環境要因について学ぶ。			3-5	講義、担当：遠藤 和男
6	環境保健2：物理、化学的な環境要因について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
7	環境保健3：社会・経済的環境要因について学ぶ。			3-5	講義、担当：遠藤 和男
8	公害事例についてレポートを提出する。			3-5	レポート提出、担当：遠藤 和男
9	成人保健1：AIDSなどの感染症について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
10	成人保健2：がんの原因と予防策について学ぶ。			3-5	講義、担当：遠藤 和男
11	成人保健3：循環器疾患等について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
12	高齢者の保健対策、介護保険について学ぶ。			3-5	講義、担当：遠藤 和男
13	母子保健及び学校保健について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト、担当：遠藤 和男
14	産業保健、労働衛生について学ぶ。			3-5	講義、担当：遠藤 和男
15	まとめと総合演習（国家試験問題）			1-5	講義＋演習、担当：遠藤 和男
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シンプル衛生公衆衛生学	鈴木庄亮、久道 茂	南江堂	2014・2,400円＋税
参考書					
その他の資料		サヴノートとして書き込める資料を毎回配布する。			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
・毎回2問の小テストは解説するものの、評価対象とはしない。 ・出席態度、公害のレポート、国家試験形式の試験結果を総合的に評価する。			・3年次の「保健統計学」と多少重複する事項があるものの、重要な場合はあえて重複して教えるものとする。		